

家庭教育力の強化を図ろう

～ 家庭と連携し、心ゆたかな、主体性のある生徒を育てる ～

高浜市立高浜中学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は、高浜市の中心部及び北部を中心に4小学校区からなる。周りは住宅地で、幹線道路沿いには近年、各種の店舗が増えている。900名を超える生徒が通う大規模校であり、教職員も多い。外国籍の生徒も増え、全体の約7%を占めている。

2 研究のねらい

本校の教育目標は「心ゆたかな、主体性のある生徒を育てる」であり、そのためには保護者と教職員が共通理解のもと、協力し連携を密にすることが重要である。そこで、様々なP T A活動を行い、より多くの保護者に参加してもらうことで、学校の教育活動の理解を深めながら家庭教育力を強化できるように本研究に取り組む。

3 研究の方法

P T A理事会を中心に、評議員からなる4つの委員会（文化委員会・広報委員会・研修教養委員会、生活委員会）で組織する。各委員会が多く数の保護者が参加できるような活動を工夫して計画し、実践する。

4 研究の実践

（1）あいさつ運動

全ての家庭に年1回の当番を依頼して、生徒の登校時、保護者による正門でのあいさつ運動を行った。全ての家庭に依頼しているため、年間を通して継続的に活動することができた。「おはようございます」と声をかけられた生徒は、笑顔であいさつをして応えている。保護者からも「しっかりあいさつができる生徒が多い」という感想をいただき、それを生徒に伝えることで、より一層あいさつの輪を学校に広げることができた。



【正門でのあいさつ運動】

（2）学校保健委員会

年間の学校保健委員会について、全体会を1回、学年別の会を3回開催した。全体会は、2部構成とし、第1部では定期健康診断や体力テストの結果の報告と協議、第2部では救急処置対応に関するシミュレーション演習を行った。学年別の会では、1年生で「生活習慣病予防講座」、2年生で「救急救命講座」、3年生で「薬物乱用防止教室」を開催した。学年別の会は前半が講師を招いての講義、後半が担任による学級活動という流れで行った。生徒はもちろん、保護者にとっても子どもの健康を考える上で有意義な会となった。

（３）生活モニターと防犯パトロール

夏季休業中にPTA役員と評議員に生活モニターを依頼した。アンケートを配布し、夏季休業中の生徒の生活の様子で気になったことを記述して提出してもらった。また、防犯パトロールも行い、保護者と共に車で地域を巡回し、生徒を見守る活動を行った。提出された生活モニターについては集約し、職員会やPTA理事会で情報共有を行った。集約された内容には、生徒の生活の様子だけでなく、通学路について、危険箇所などの記述もあり、安全対策の面でも大いに役に立った。

（４）「校内見守りたい」と給食試食会

年間２回、「校内見守りたい」と題して、生徒の普段の学校生活を見学してもらう会と、生徒に提供している給食を試食してもらう会を同日開催した。保護者には中学校の授業や生徒の様子、実際に生徒が食べている給食の内容や衛生面に配慮した配膳の様子を知ってもらう機会となった。特に、給食試食会は、久しぶりに給食が味わえると好評であった。



【給食試食会】

（５）花壇整備作業と環境整備活動

６月と１１月の年間２回、花壇整備作業と環境整備活動を行った。学校花壇の植え替えや草取り、樹木の剪定や溝掃除など、普段なかなか行き届かない場所を整備した。母親の参加が多いPTA活動だが、今回は父親にも多く参加していただけた。また本校の保護者だけでなく、学校開放で本校の運動場を利用している地域の方にも参加していただくことができた。



【環境整備活動】

（６）高校見学会

年間２回、保護者から参加希望を取り高校見学会を行った。本校生徒が比較的多く進学する近隣の公立高校、私立高校、専修学校など見学できるよう計画した。見学会では、高校の授業の様子を見たり、高校の先生の話の聞いたりする時間が設定されており、保護者が各学校の特色を知ることができた。我が子の進路についてイメージすることができ、家庭での支援についても考えるよいきっかけとなった。

５ 成果と今後の課題

各委員会で工夫しながら多くの活動を企画・実施したことで、たくさんの保護者が活動に参加することになった。保護者が様々な活動に参加することで、保護者同士や教職員との交流が深まり、情報を共有することができる。PTAの積極的な活動が、学校の教育活動に対する理解を深め、家庭教育力の強化を図ることにつながったと考える。生徒の健やかな成長のためには、家庭と学校が連携する必要がある。今後も、より多くの保護者が参加できるPTAの活動になるよう、工夫して企画していきたい。